

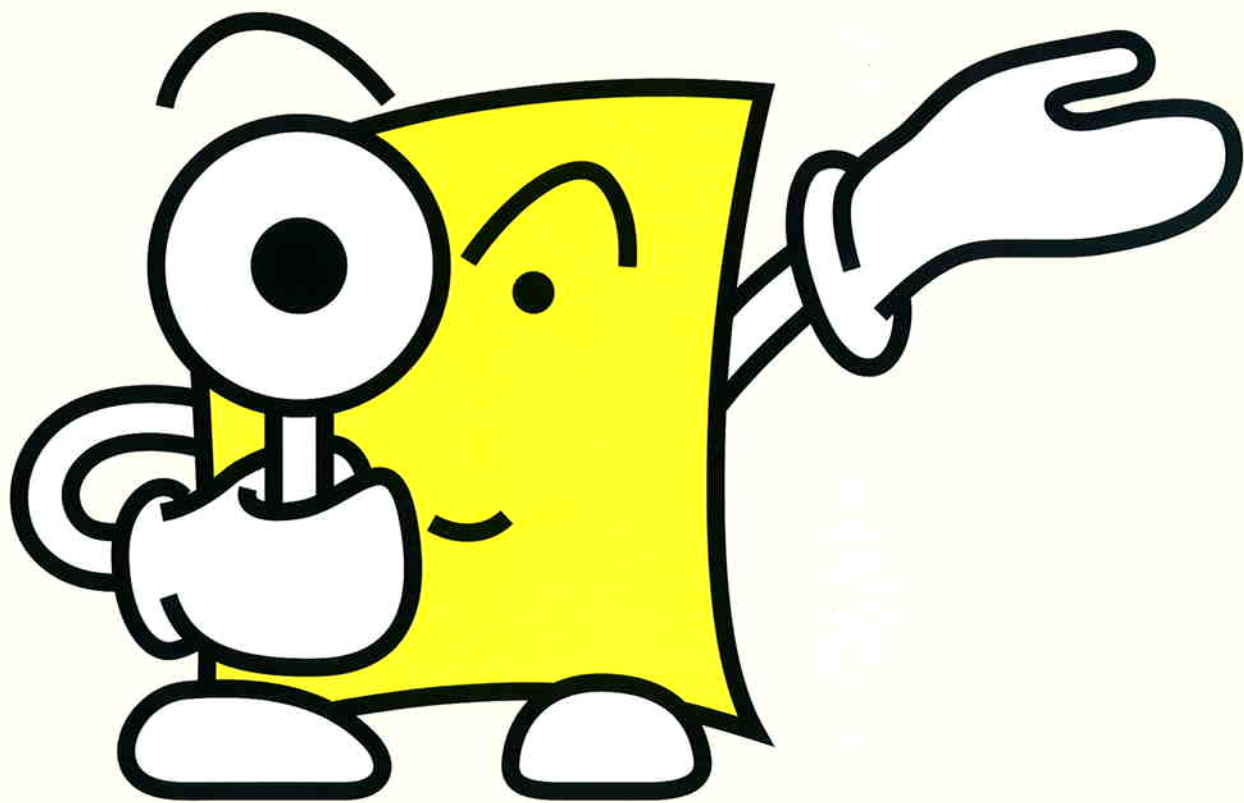
床診断士による改修提案書を使った

床改修
ゆか

<全面改修、部分改修についても>

を、ご提案します。

「床診断士」にご相談ください。



東日本床工事業協同組合
西日本床工事業協同組合

東・西日本床工事業協同組合が認定する「床診断士」が、現状床の問題を調査し、お客様のご要望をお聞きしたのち、最良な床改修をご提案します。改修提案から施工実施まで一貫してお引き受けするため、様々なメリットが生まれます。

スクラップ&ビルドではなく、資源を無駄づかいしないで、既存建物をリニューアルすることをご提案します。

建物の床は、時の経過とともに、様々な劣化や傷みが生じてきます。また、新築時には考えられなかったフロアの用途変更などにより、利用者が不快や不便を強いられる状況も発生しやすくなります。幼い子供たちや体の弱ったお年寄りが利用する施設では事故につながる恐れも考えられます。

「床診断士」は、そこで生活し、働いてみなければ気づかない切実な問題を、床づくりという視点から解決、機能アップをご提案します。いまお困りのことがありましたら、「床診断士」にまずご相談ください。



「床診断士」とは？

「床診断士」は、全国260社の内装専門工事店が組織する、東・西日本床工事業協同組合が資格認定した「床改修」の専門知識を備えたスペシャリストです。

〈東・西日本床工事業協同組合〉は、床材メーカー「タジマ」が、より品質の高い床工事をご提供するために、全国の内装専門工事店に呼びかけ構成された協同組合です。求められる建物、部位に最適な床材を、下地や接着剤、工法など正しい施工知識をもとに施工することで、安全で清潔で美しく快適な床材をより長くご利用いただくことを目的とし、「床づくり」についての技術講習会や人材育成など、より品質の高い内装工事をご提供するために活動しています。

「床診断士」は、東・西日本床工事業協同組合の組合員で、床の改修工事での適切な提案及び、改修工事に必要な知識に関する認定講習を受講後、認定試験に合格した者。すなわち、床の改修工事に関して妥当性のある改修提案書を作成する力量を有し、「お客様のご要望を把握し、過去の事故事例や最新技術を応用し妥当性のある改修工法を提案する事ができる」、床専門技術家のプロとして認定された者です。

東・西日本床工事業協同組合



例えば、バリアフリー化や滑りに対する安全性など、「床」のことなら、どんなことでもご活用ください。

まず、「床診断士」にご相談ください。

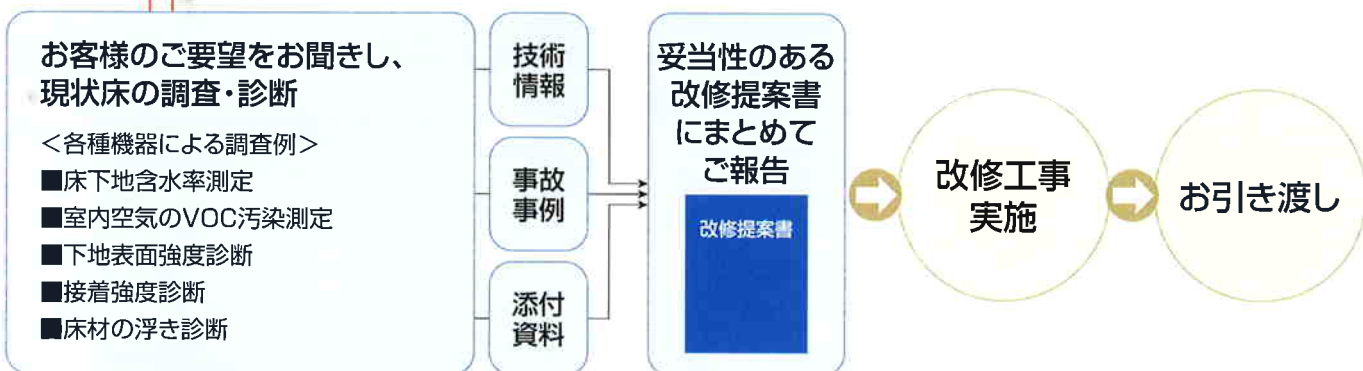
■「床診断士」によるご提案の流れ



「床診断士」が、現状調査・診断から改修プランまで、改修提案書にまとめてご提案します。

床改修のご相談に一般的にみられる、床仕上げ材の剥がれやフクレは、接着剤や施工方法に原因が考えられるだけでなく、コンクリート下地の表面硬さや水分の含水率など、専門の知識がなければ見過ごしてしまう問題によって発生している場合も少なくありません。

「床診断士」は、各種機器による現状調査のデータを元に、その根本原因の対策から床改修をご提案します。どんなに優れた床仕上げ材を施工しても、根本原因を取り除いていなければ、長期の使用では、同じ問題を生じてしまうのです。



床診断士が調査・診断・ご提案

東・西日本床工事業協同組合メンバー



3つのメリット

「床診断士」を活用した<東・西日本床工事業協同組合>だから生まれる改修メリット。

メリット 1

豊富な改修実績と 工事品質。

組合メンバー店は、日々豊富な改修工事を体験しているため、様々な改修条件にも柔軟に対応できます。

メリット 2

最新の商品情報と 改修提案力。

床材メーカー「タジマ」との連携により、つねに最新の商品情報をもとに、ご要望に最適な改修をご提案します。

メリット 3

的確な設計プランと コスト軽減。

お客様のご要望を直接お聞きし、改修プランをご提案するためプランやコストの無駄が生じません。

詳しくは、お近くの東・西日本床工事業協同組合メンバー店にお問い合わせください。

■<床診断士>による改修提案事例

体力の衰えた居住者の方の安全性を第一に、
工事期間中の騒音や臭いなどにも配慮した
改修をご提案しました。

滑りにくく転倒の衝撃を軽減できる床システムや、車椅子の衝撃を軽減する腰壁材など、居住者の安全性を第一に考えた改修プランをご提案しました。また、改修エリアの居住者の方へ、工事騒音や臭いなどのご迷惑がかけられない工程にも配慮しました。

廊下

床は転倒の衝撃を軽減するビニル床シート「ACフロア」を採用、
腰壁は車椅子がぶつかっても傷つきにくい「ガード巾木・AC」に改修。



壁の下の部分は車椅子が当たり傷ついてしまう。車椅子がぶつかっても傷つきにくく、衝撃の少ない「ガード巾木・AC」を施工。床はソフトな歩行感の「ACフロア」を施工。



「ガード巾木・AC」の巻き下げ工法による施工例。

右は、木調腰壁材「シンセテック」の施工例。車椅子などによる腰壁の汚れや傷つき防ぐとともに、暖かみのある空間演出が可能です。



■部位別施工例

居室



転倒の衝撃を軽減できる「ACフロア」。

機能訓練室



ひざやひじを直についても痛くない、「タスクレイシステム」。

脱衣室



素足でもそこ冷えにくい「ACフロア」。

東・西日本床工事業協同組合は、より高い品質の「改修」をご提供するために様々な活動を行っています。

■東・西日本床工事業協同組合エリア図



施工技術研修会

定期的な施工技術研修会により
施工技術の向上に努めています。



床づくりは、下地づくりから床仕上げ材の施工完了までの工程を経て初めて完成品といえます。そのため、たとえ優れた床仕上げ材であっても、その施工品質により、床づくりに大きな差ができてしまいます。

東・西日本床工事業協同組合では、より優れた床仕上げ材をより品質の高い床工事でご提供するために、「責任施工」を基本姿勢として床づくりに取り組んでいます。全国各地で定期的を実施する施工技術研修会により、商品知識・施工ノウハウの蓄積や交流など施工技術者の技術向上に努めています。

床診断士

床改修の専門知識をもつスペシャリストの
研修認定制度を設けています。

東・西日本床工事業協同組合の組合員で、床の改修工事での適切な提案及び、改修工事に必要な知識に関する認定講習を受講後、認定試験に合格した技術者を「床診断士」として認定しています。

登録施工技術者

品質の高い床施工の核となる
登録施工技術者制度を設けています。

東・西日本床工事業協同組合では、全国の組合メンバーの中から、確かな床づくりの知識と技術を持つ施工技術者を「登録施工技術者」として認定しています。各組合メンバーの施工技術者の核として、正しい床づくりの知識や技術の普及をめざすとともに、最新の商品知識や施工ノウハウの獲得に向け、**施工技術者研修会を開催し、技能スペシャリストの育成を図っています。**

若手社員研修

将来の床改修を見据え、
人材の育成に努めています。



床づくりにあっても、若手社員の育成は、長期的な技術向上の前提となる重要なテーマです。東・西日本床工事業協同組合では、組合メンバーの若手社員を対象とした社員研修を実施し、床づくりや商品全般に対する知識、基本的な施工技術の習得など、人材育成に力を注いでいます。

床診断士[®]

東・西日本床工事業協同組合

株式会社 **タジマ**

〒101-8577 東京都千代田区岩本町3-11-13 営業本部:03(5821)7731

<http://www.tajima.co.jp>

東京:03(5821)7741 盛岡:019(622)3532 東関東:043(245)9911 北陸:076(231)5741 名古屋:052(961)1968 高松:087(862)8698
大阪:06(6441)5951 仙台:022(222)6413 多摩:042(527)8132 信越:0263(27)1841 神戸:078(241)2172 福岡:092(712)9141
札幌:011(231)8261 北関東:048(651)9721 横浜:045(212)4431 静岡:054(281)8931 広島:082(242)9300 鹿児島:099(251)6556

東日本床工事業協同組合事務局 〒101-8577 東京都千代田区岩本町3-11-13

TEL:03(5821)7741

西日本床工事業協同組合事務局 〒550-0003 大阪市西区京町堀1-8-5 明星ビル11F

TEL:06(6441)5951

東日本床工事業協同組合メンバー店

<http://www.tozai-yuka.jp>